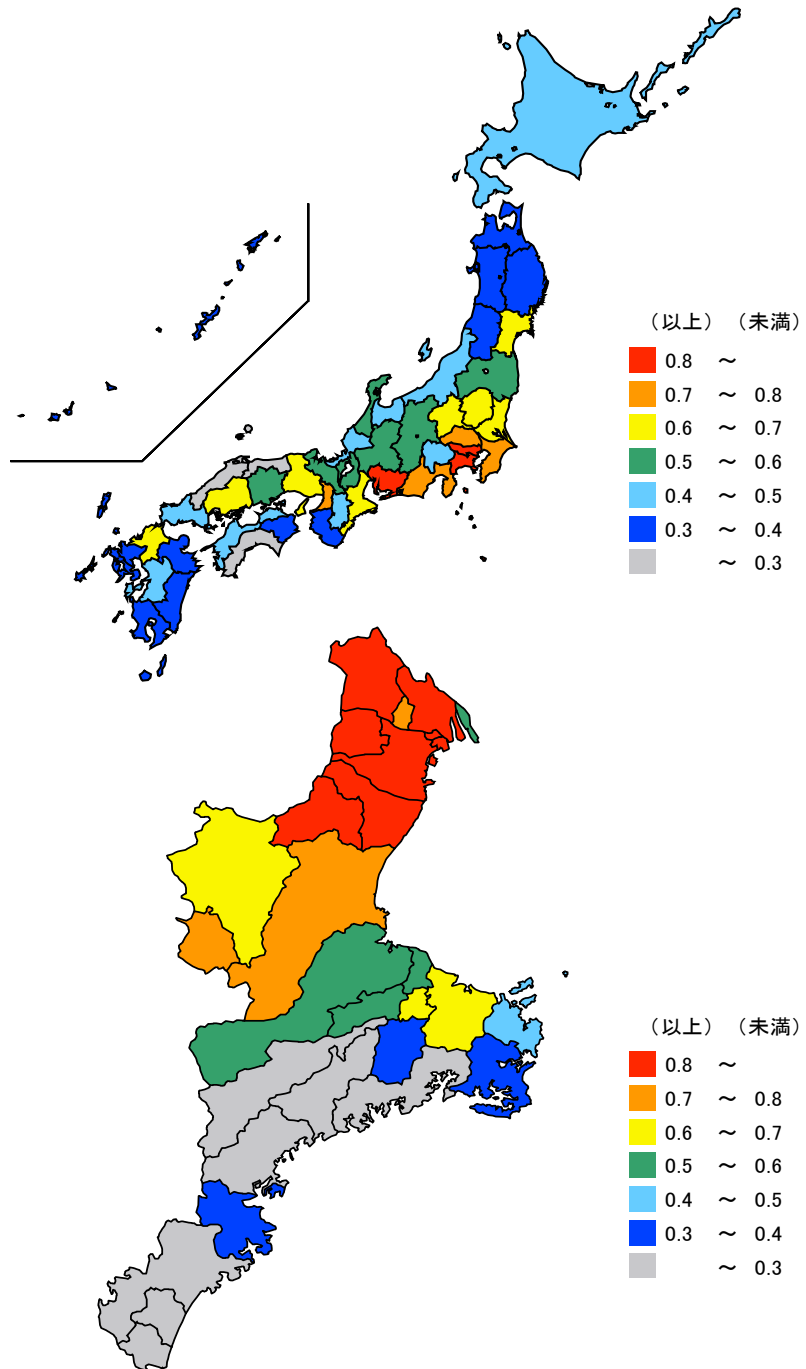


● 財政力指数

平成31/令和元年度

都道府県	値	順位
平均	0.522	
東京都	1.177	1
愛知県	0.920	2
神奈川県	0.896	3
大阪府	0.792	4
千葉県	0.779	5
三重県	0.608	15
徳島県	0.327	43
秋田県	0.318	44
鳥取県	0.282	45
高知県	0.272	46
島根県	0.262	47

市町	値	順位
川越町	1.350	1
四日市市	1.172	2
亀山市	0.911	3
鈴鹿市	0.901	4
朝日町	0.854	5
桑名市	0.847	6
いなべ市	0.846	7
菟野町	0.806	8
東員町	0.787	9
津市	0.715	10
名張市	0.707	11
伊賀市	0.632	12
伊勢市	0.610	13
玉城町	0.609	14
松阪市	0.599	15
明和町	0.573	16
多気町	0.547	17
木曾岬町	0.534	18
鳥羽市	0.443	19
志摩市	0.390	20
尾鷲市	0.377	21
度会町	0.346	22
紀宝町	0.297	23
御浜町	0.290	24
紀北町	0.283	25
熊野市	0.258	26
大台町	0.248	27
南伊勢町	0.210	28
大紀町	0.187	29
市町平均	0.598	



平成31/令和元年度（過去3年間の平均値）の三重県の財政力指数は0.608で、全国順位は15位となっています。

県内市町の財政力指数は、川越町と四日市市が1を超えており、次いで亀山市、鈴鹿市が続いています。一方、県南部地域の市町は低い傾向にあります。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【備考】 財政力指数とは、地方公共団体の財政力を表す指標で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値である。この値が高いほど財源に余裕があるものとされる。

都道府県の平均及び市町平均は、単純平均による。

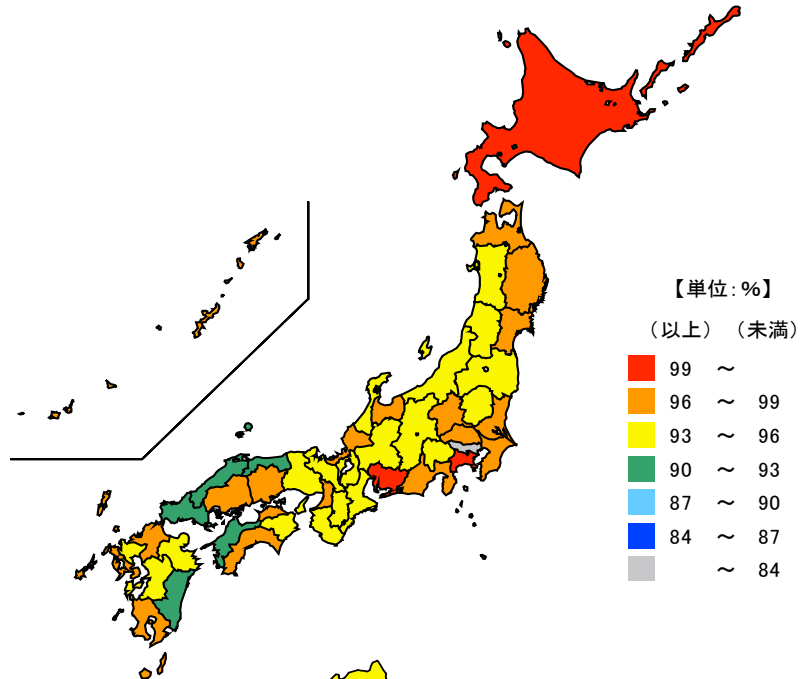
※基準財政収入額及び基準財政需要額は、地方交付税の算定に用いられ、それぞれ各地方公共団体の財政力、財政需要を合理的に測定するために算定される額。

● 経常収支比率

平成31/令和元年度

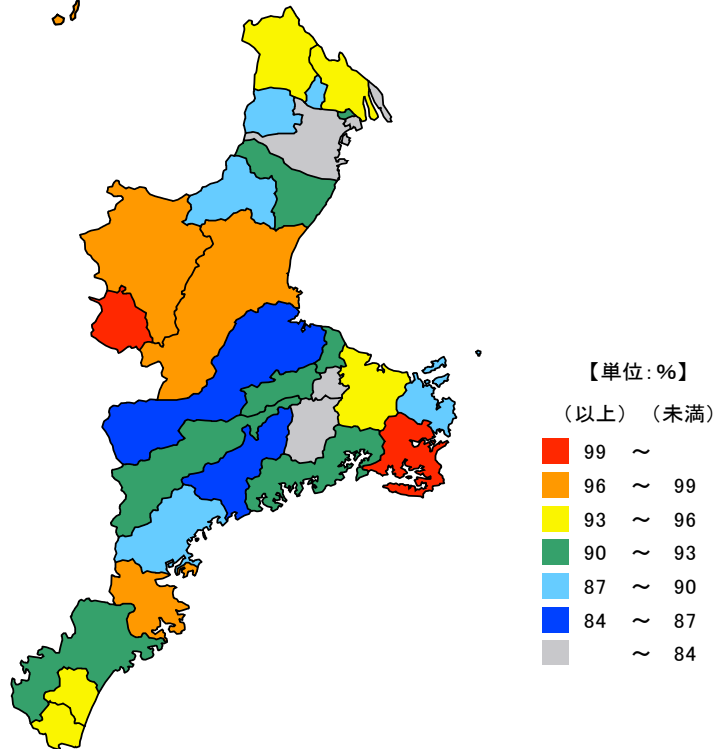
単位：％

都道府県	値	順位
平均	93.2	
愛知県	99.8	1
神奈川県	99.6	2
北海道	99.1	3
大阪府	98.5	4
高知県	98.5	4
三重県	95.8	25
鳥取県	92.2	43
山口県	91.5	44
島根県	90.7	45
愛媛県	90.2	46
東京都	74.4	47



単位：％

市町	値	順位
志摩市	101.4	1
名張市	100.3	2
尾鷲市	98.2	3
伊賀市	97.8	4
津市	97.3	5
伊勢市	94.4	6
御浜町	94.2	7
紀宝町	93.9	8
いなべ市	93.5	9
桑名市	93.0	10
南伊勢町	92.8	11
朝日町	92.1	12
大台町	91.7	13
熊野市	90.8	14
明和町	90.6	15
鈴鹿市	90.4	16
多気町	90.0	17
鳥羽市	89.5	18
紀北町	89.5	18
菟野町	88.9	20
龜山市	88.1	21
東員町	87.2	22
松阪市	86.0	23
大紀町	84.7	24
四日市市	74.8	25
玉城町	74.4	26
度会町	74.4	26
木曽岬町	70.7	28
川越町	68.7	29
市町平均	89.3	



平成31/令和元年度の三重県の経常収支比率は95.8%で、全国順位は25位となっています。

県内市町の経常収支比率は、志摩市、名張市、尾鷲市の順に高くなっています。一方、川越町、木曽岬町等の1市4町が80%以下と低くなっています。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【備考】 経常収支比率とは、地方税、地方交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当されたものが占める割合。

財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示す。

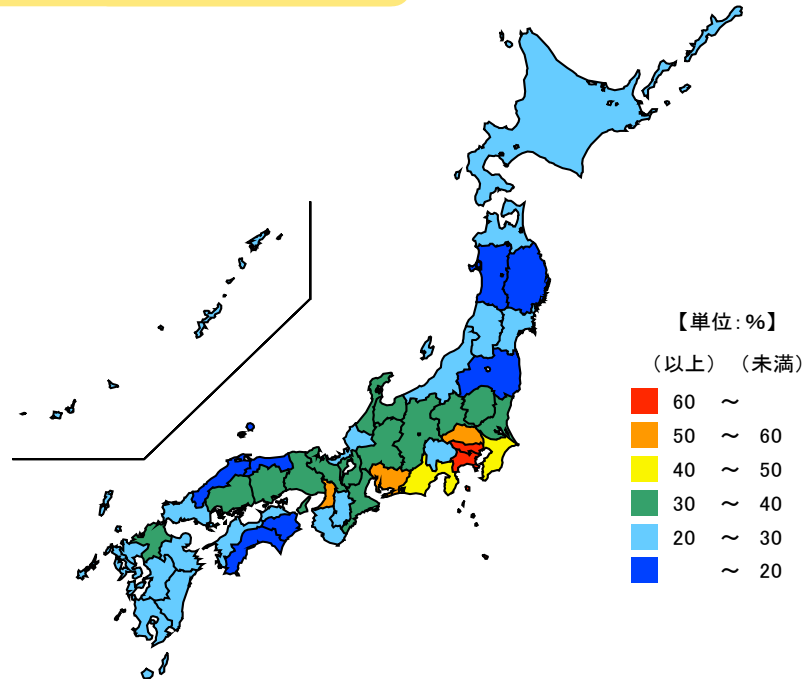
都道府県の平均及び市町平均は、加重平均による。

● 地方税割合(対歳入決算総額)

平成31/令和元年度

単位：％

都道府県	値	順位
平均	40.7	
東京都	70.7	1
神奈川県	61.3	2
愛知県	53.5	3
埼玉県	50.9	4
大阪府	50.7	5
三重県	39.0	8
徳島県	18.7	43
鳥取県	18.5	44
高知県	17.4	45
島根県	16.9	46
岩手県	15.6	47

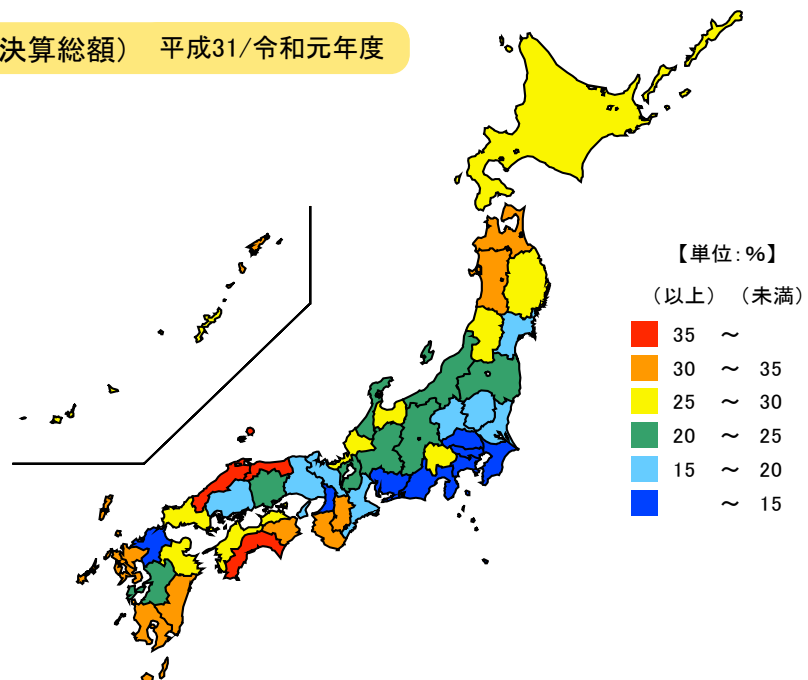


● 地方交付税割合(対歳入決算総額)

平成31/令和元年度

単位：％

都道府県	値	順位
平均	17.0	
鳥取県	38.5	1
高知県	37.8	2
島根県	37.4	3
鹿児島県	34.0	4
青森県	33.1	5
三重県	19.0	32
千葉県	11.1	43
大阪府	9.6	44
神奈川県	5.7	45
愛知県	3.2	46
東京都	-	47



平成31/令和元年度の三重県の歳入決算総額に占める地方税割合は39.0%で、全国順位は8位となっており、地方交付税割合は19.0%で、全国順位は32位となっています。

【資料出所】 総務省「都道府県決算状況調」

【算出方法】 地方税(地方交付税)歳入決算額÷歳入決算総額×100

● 地方債現在高(人口1人当たり)

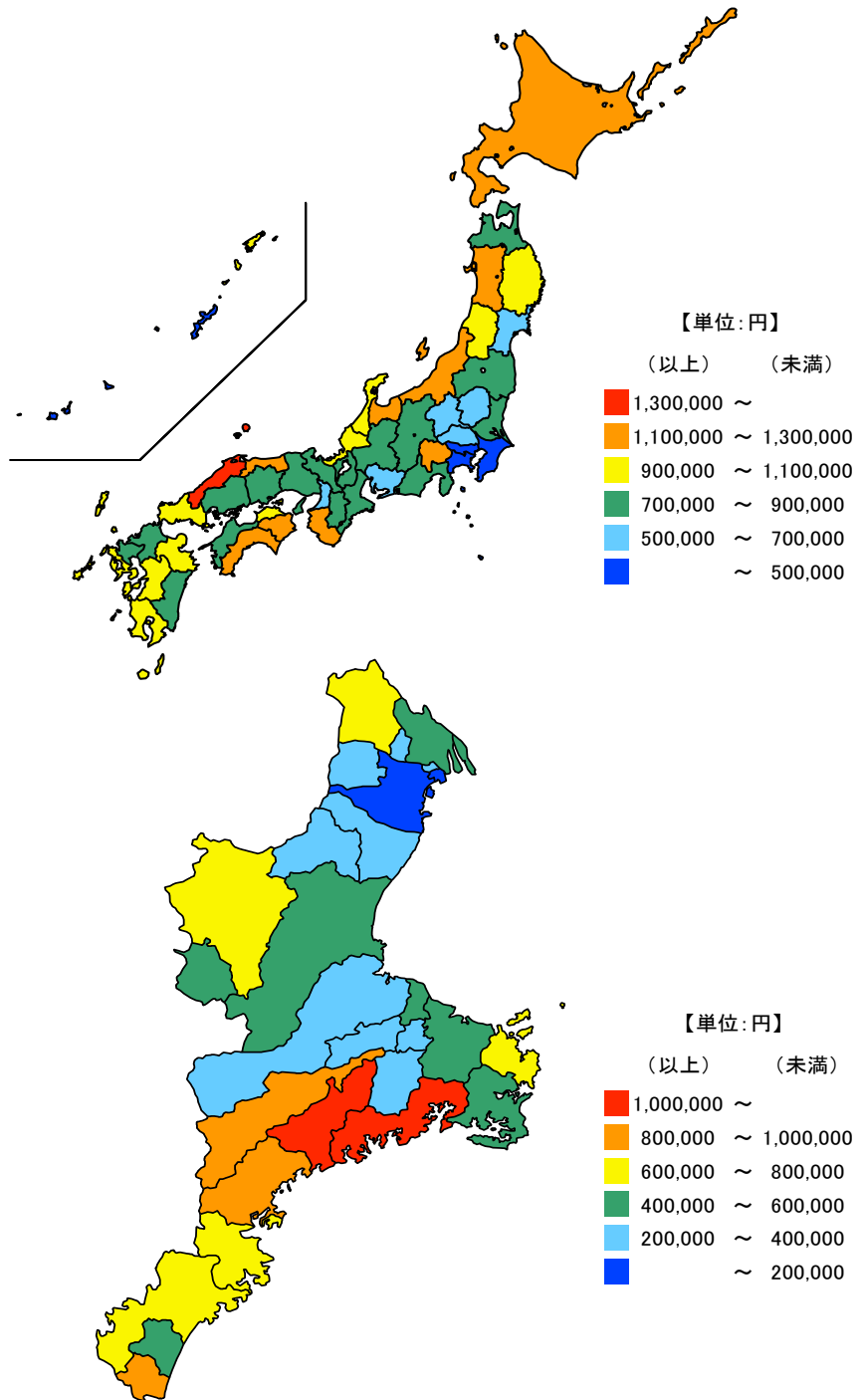
令和元年度

単位：円

都道府県	値	順位
平均	689,529	
島根県	1,374,180	1
秋田県	1,298,233	2
高知県	1,257,883	3
山梨県	1,158,851	4
富山県	1,133,127	5
三重県	795,882	27
埼玉県	522,135	43
千葉県	491,842	44
沖縄県	415,484	45
神奈川県	374,056	46
東京都	275,243	47

単位：円

市町	値	順位
大紀町	1,281,241	1
南伊勢町	1,112,936	2
大台町	945,637	3
紀北町	877,927	4
紀宝町	816,719	5
熊野市	795,151	6
鳥羽市	678,666	7
いなべ市	666,653	8
伊賀市	628,824	9
尾鷲市	606,036	10
志摩市	570,304	11
御浜町	565,396	12
木曽岬町	527,758	13
明和町	507,496	14
桑名市	488,036	15
伊勢市	462,034	16
名張市	459,920	17
津市	409,703	18
多気町	395,237	19
朝日町	381,947	20
度会町	370,281	21
玉城町	338,581	22
亀山市	312,712	23
松阪市	297,928	24
菟野町	253,534	25
鈴鹿市	239,244	26
東員町	232,985	27
四日市市	172,895	28
川越町	25,389	29



令和元年度の三重県の人口1人当たりの地方債現在高は79万5,882円で、全国順位は27位となっています。

県内市町の人口1人当たりの地方債現在高は、大紀町、南伊勢町が100万円以上と多く、川越町は2万円台と、特に少なくなっています。

【資料出所】

総務省「都道府県決算状況調」「市町村別決算状況調」
全国・都道府県の総人口：総務省統計局「人口推計」
三重県市町の総人口：三重県戦略企画部統計課「推計人口」

【算出方法】

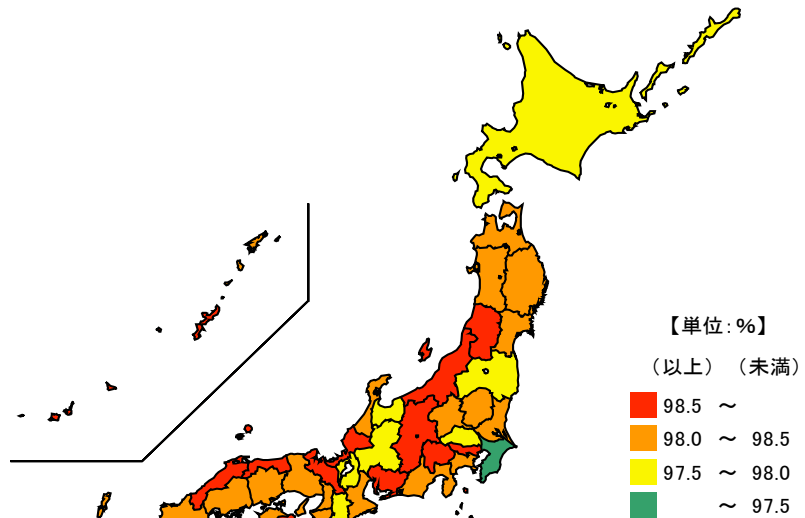
地方債現在高÷総人口

● 地方税徴収率

平成30年度

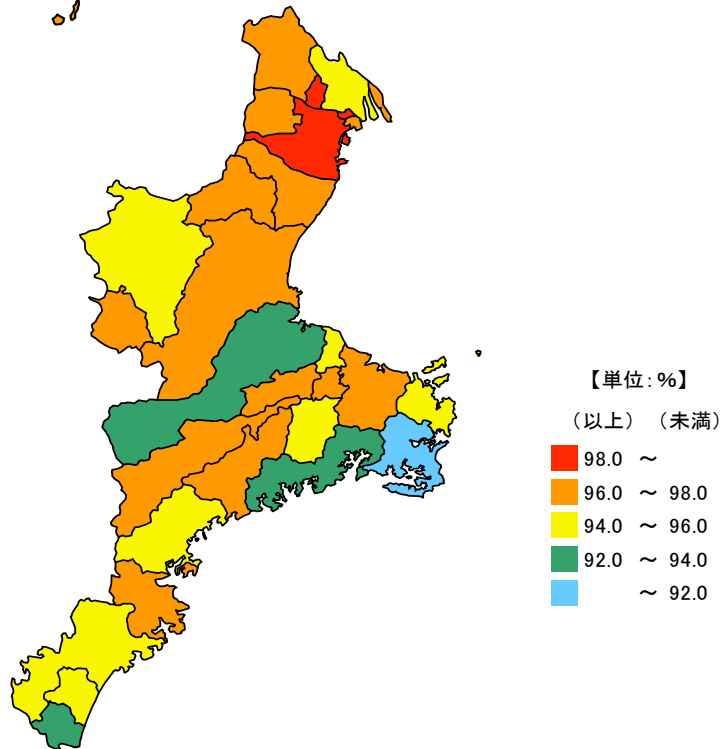
単位：％

都道府県	値	順位
合計	98.3	
島根県	99.1	1
沖縄県	98.9	2
愛媛県	98.9	3
新潟県	98.8	4
京都府	98.8	5
三重県	98.5	18
埼玉県	97.9	43
滋賀県	97.8	44
岐阜県	97.7	45
奈良県	97.7	46
千葉県	97.1	47



単位：％

市町	値	順位
東員町	99.0	1
四日市市	98.4	2
朝日町	98.3	3
多気町	98.0	4
いなべ市	97.8	5
名張市	97.5	6
川越町	97.4	7
津市	97.4	8
菟野町	96.9	9
大台町	96.8	10
大紀町	96.8	11
鈴鹿市	96.5	12
木曽岬町	96.2	13
玉城町	96.2	14
伊勢市	96.2	15
亀山市	96.1	16
尾鷲市	96.1	17
桑名市	95.8	18
熊野市	95.8	19
紀北町	95.4	20
明和町	95.1	21
伊賀市	95.0	22
御浜町	94.9	23
度会町	94.7	24
鳥羽市	94.6	25
松阪市	93.1	26
紀宝町	92.9	27
南伊勢町	92.5	28
志摩市	91.1	29



平成30年度の三重県の地方税（道府県税）の徴収率は98.5%で、全国順位は18位となっています。

県内市町の地方税（市町村税）の徴収率は、東員町、四日市市等が高く、志摩市、南伊勢町等が低くなっています。

【資料出所】

総務省「道府県税徴収実績調」、「市町村税徴収実績調」

【算出方法】

収入済額 ÷ 調定済額（収入済額、調定済額ともに過年度の滞納繰越分を含む。）

【備考】

道府県税は、地方消費税を除いた額で算出。

東京都については、都が徴収する市町村税相当分を道府県税収入から控除したものの。

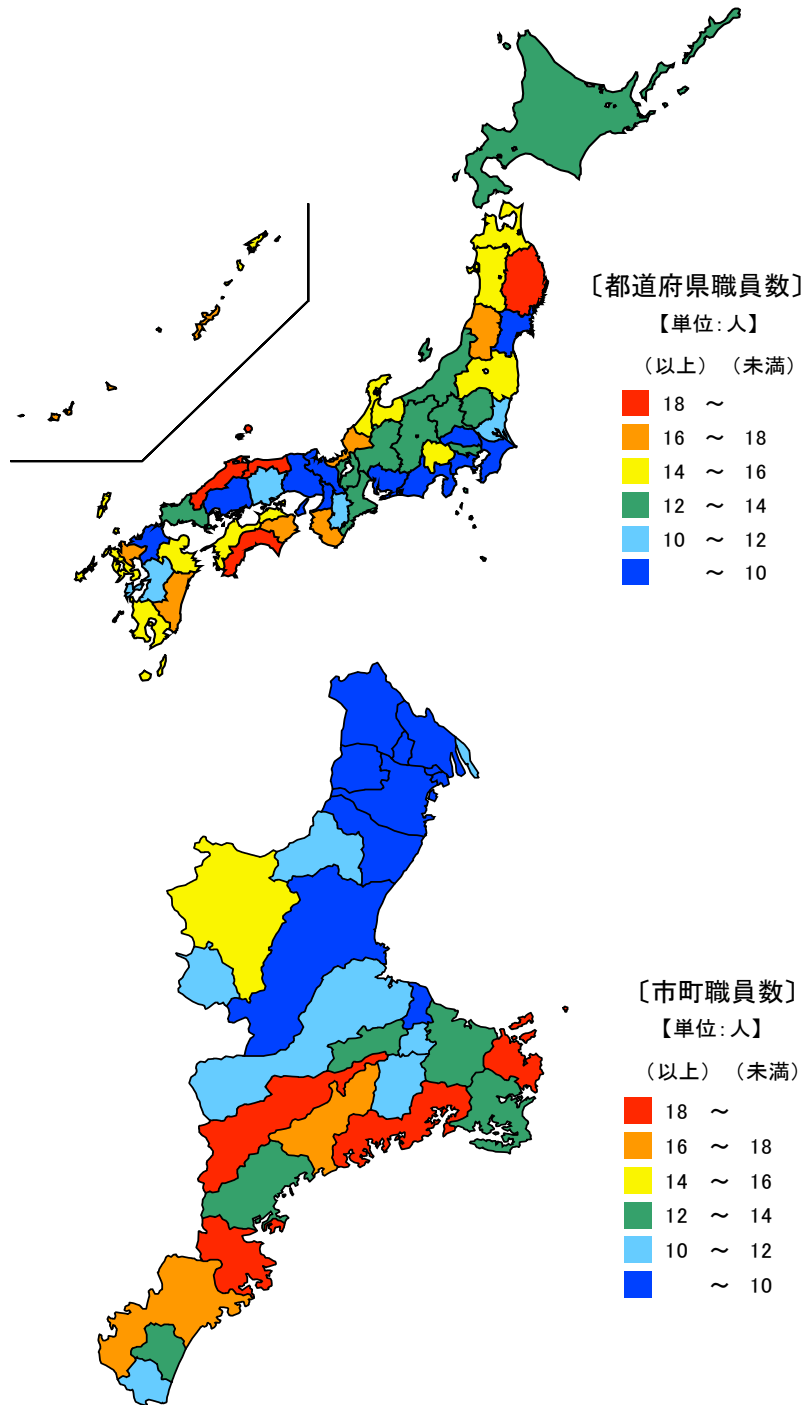
● 都道府県及び市町の職員数(人口千人あたり) 平成31年4月1日

都道府県職員数 単位：人

都道府県	値	順位
平均	11.0	
鳥取県	20.6	1
島根県	20.6	2
岩手県	19.4	3
高知県	19.3	4
徳島県	17.9	5
三重県	12.4	29
愛知県	8.3	43
埼玉県	8.1	44
福岡県	8.0	45
大阪府	7.8	46
神奈川県	5.8	47

市町職員数 単位：人

市町	値	順位
尾鷲市	25.7	1
南伊勢町	25.4	2
大台町	19.3	3
鳥羽市	19.1	4
熊野市	17.9	5
大紀町	17.7	6
伊賀市	14.5	7
志摩市	13.8	8
御浜町	13.8	9
紀北町	13.5	10
多気町	12.9	11
伊勢市	12.2	12
亀山市	11.7	13
松阪市	11.7	14
玉城町	11.6	15
紀宝町	11.5	16
度会町	11.2	17
名張市	11.1	18
木曽岬町	10.6	19
朝日町	9.8	20
四日市市	9.7	21
津市	9.3	22
明和町	9.0	23
菰野町	8.5	24
東員町	8.5	25
川越町	8.4	26
いなべ市	8.2	27
桑名市	7.8	28
鈴鹿市	7.3	29
市町平均	10.6	



平成31年4月1日現在の三重県の人口千人当たりの県職員数は12.4人で、全国順位は29位となっています。

県内市町の人口千人当たりの市町職員数は、尾鷲市、南伊勢町、大台町の順に多く、鈴鹿市、桑名市等は少なくなっています。

【資料出所】

総務省「地方公共団体定員管理調査」
 全国・都道府県の総人口：総務省統計局「人口推計」
 三重県市町の総人口：三重県戦略企画部統計課「推計人口」

【算出方法】

職員総数 ÷ 総人口 × 1,000